

第5回北広島市学校跡施設市民検討会議 議事概要

◆開催概要

日 時 : 平成 22 年 10 月 12 日 (火) 18:00~20:00

場 所 : 市役所本庁舎 2 階会議室

出席委員 : 遠藤智委員、大川壽雄委員、川島光行委員、北側理委員、佐藤靖委員、
澤田美恵子委員、清水弘委員、瀬戸口剛委員、寺岡和彦委員、中井敏之委員、
西和恵委員、檜皮義博委員、藤野伸之委員

欠席委員 : 五十嵐智嘉子委員、栗山恒幸委員

事務局 : 岩泉功一企画財政部長、櫻井芳信政策調整課長、川村裕樹政策調整課主査、
岸本美由紀主事

傍聴者 : 3 名

1. 開 会

- ・本日は委員の 15 名中 13 名が参加している。委員の半数が出席していることにより、会議が成立していることを報告。

2. 報 告

- ・事務局により資料説明が行われた。

(1) 前回 (9/6) 市民検討会議における調査依頼事項

- ・広葉小、緑陽小学校の暖房費等 (平成 21 年度実績) 【別紙 1】
- ・学童クラブ、児童センターの概要 【別紙 2】
- ・図書室の利用状況 【別紙 2】
- ・市で実施している食育事業の概要 【別紙 2】
- ・市内学習塾一覧 【別紙 3】

【会長】

- ・学校利用で経費が多くかかるのが暖房費である。
- ・広葉小学校と緑陽小学校を合わせた年間暖房費は約 1 千 3 百万円程度である。
- ・広葉小学校、緑陽小学校共に集中暖房か。

【事務局】

- ・体育館以外は、両校ともに集中暖房である。

【会長】

- ・札幌市の曙小学校は、施設改修時に F F 式の個別暖房に変えた。
- ・学校の利用形態が決まり次第、暖房費については考えていかなければならない。
- ・図書館の利用状況をみると、北広島市図書館以外に大曲の図書館の利用者が多いようである。

*運営主体に関する参考資料について

- ・事務局により資料説明が行われた。
 - (1)学校跡施設利活用の運営主体の傾向と特徴（廃校リニューアル 50 選）
 - (2)運営管理主体の組織形態
 - (3)各委員より提案された施設（機能）の想定される運営主体

3. 議 事

(1) 学校跡施設利活用に関する各委員からの提案（その 2）

【会長】

- ・前回は「①総合的に考える・複合化する」と「②学習の場として尊重する」という考え方に沿って意見を出して頂いた。「②学習の場として尊重する」という考え方の「文化施設」としての意見がまだ残っていたので、そこから意見を聞いていく。

【委員 A】

- ・北広島市には歴史的遺産を整理して保管している場所がないので、歴史を紹介する場として提供してはどうか。

【会長】

- ・小学生などに対して、地域の教育はどのように行っているのか。実際に現物を見る場はないのか。

【事務局】

- ・赤毛種の体験を行ったりはしている。本を使った歴史の授業を行っている。
- ・東記念館という施設の一角を借りて、化石などを展示している場所があり、小学生の施設見学時には学芸員が説明を行ったりしている。

【会長】

- ・現在、歴史を学ぶ場がないので、歴史を示すような場所があっても良いのではないかと。
- ・開拓の歴史を表したものやクラーク博士が言った「Boys, be ambitious」などに関する資料はないのか。

【事務局】

- ・開拓の歴史の一覧のような物はないが、東記念館の倉庫に開拓時に使用した農器具等は集めて保管している。

【委員 B】

- ・学校本来の学習機能がきたものを施設内に入れて使うのが良い。
- ・第 4 住区は図書館等が遠いので、近くにあると助かる。
- ・囲碁や将棋などが常設してあると良い。
- ・運営母体が大切ではないか。
- ・今ある NPO 法人の理事と運営母体について議論したところ、健康に生きていく為に食を中心にした運営母体を考えている。

【会長】

- ・運営母体を検討することは大切であり、アイデアを出しながら進めていきたい。

【委員 C】

- ・歴史資料として、これからの資料を保存することも必要である。
- ・学習機能も必要である。
- ・美術館がほしいという話を聞くことから、美術館の活用を考えた。展示室も必要である。
- ・緑陽小学校は、和室もあることから茶道など芸術の場にふさわしい。
- ・緑陽小学校は眺めも良く環境が良い。
- ・多くの人に来てもらうために、国道 36 号に案内板をしっかりと設置することが必要である。

【委員 A】

- ・歴史を学ぶ機会や場所が北広島市にはない。
- ・歴史を整理することが必要である。
- ・個人で歴史資料を持っている人は、結構いる。
- ・そこに行けば北広島歴史が解るといような場所にしてはどうか。

【会長】

- ・歴史博物館は良いと思う。
- ・みんなで歴史を共有する学会をつくるということも良いのではないかな。

【委員 D】

- ・北広島市立「美術工芸館」をつくるときには、愛称等を公募すると良いのではないかな。
- ・岩見沢市の駅舎は、駅舎に使われるブロックに参加者がお金を出して名前を刻み、資金を集めていた。そのような思い入れを感じてもらいたいようなことが必要ではないかな。
- ・北広島市の美術のプロ作家の作品を今集めておくことが必要ではないかな。
- ・イベントとして、作家の作品を展示することもあるのではないかな。
- ・校舎の 2F は、作業場(アトリエ)として活用してはどうか。
- ・憩いの場を併設すると良い。

【会長】

- ・美術を展示する場はあって良いのではないかな。
- ・運営の仕方として、今、作品を多くの人に観てもらいたいのために作品を出す側がお金を出すこともよくある。
- ・市民から写真などを集めて、市民美術館にするのは面白いのではないかな。

【委員 E】

- ・未来を見据えたミュージアムにするのが良いのではないかな。
- ・拠点としては、広葉小学校が良いのではないかな。

【委員 F】

- ・エコミュージアム構想が検討されている。エコミュージアムの調査研究部門など一部を、どちらかの小学校に誘致することが良いのではないかな。
- ・教育普及として赤毛種の栽培等をして食育学習を行ってはどうかな。

【会長】

- ・北広島市では、エコミュージアム構想をつくっているのか。

【事務局】

- ・教育委員会で検討している。

【会長】

- ・エコミュージアムが良いのではないかな。
- ・地域全体がミュージアムというのがエコミュージアムの発想なので、拠点がどこにあっても良いのではないかな。
- ・博物館の考え方を取り入れながら、もっと広い概念を示していく構想があって、学校跡施設が位置づけられると良いのではないかな。
- ・歴史、美術館、エコミュージアムの機能は有力な候補ではないかな。
- ・実現性も早く、市民のニーズもある。
- ・「③多世代の交流の場にする」について意見を聞いていきたい。

【委員 G】

- ・施設を少し改修すれば、面白い施設になるのではないかな。
- ・緑陽小学校のグラウンドが広がった。そば畑等の活用が出来ないかな。
- ・そば畑で花見も良い。畑の真ん中にステージがあると良いのではないかな。
- ・運営主体を市民、企業、行政で組織した方が良いのではないかな。

【会長】

- ・北広島市ならではの“そば”にはならないかな。そうなると面白くなる。

【委員 A】

- ・“ひろっこうどん”や“ひろっこラーメン”等はあるが、北広島市の特産はないのではないかな。
- ・北広島市は大根が有名なので、漬物などを特産品とできるのではないかな。

【委員 H】

- ・北広島市の漬物は、まだ有名ではない。

【会長】

- ・まちづくりとして、食のような楽しいことが必要ではないかな。

【委員 H】

- ・そば打ち同好会に入っていて、そば打ち 5 段を持っている人が北広島市にいる。全国に 100 人位しかいない。
- ・つくるところから食べるところまで出来ると楽しいと思う。
- ・北広島駅前のそば屋では、店の前でそばを打っているのが美味しいそばを食べることができる。
- ・このようなお店が何軒か出来ると競い合って、そばの水準が高くなる。

【委員 B】

- ・学校の持っている防災機能は残しておくべきである。
- ・送迎のサービスや町内会の書類、会計等の事務処理代行もあるのではないかな。
- ・食というのは、人の集まる場所になくはならないものだと思う。

【委員 G】

- ・学校で、野菜を売るような日曜日みたいなものが開催出来たら良いのではないかな。

【委員 F】

- ・北広島市はカナダのサツカトゥーン市と交流をしているので、宿泊施設などの交流の場とし

- て整備することも中・長期的には考えられるのではないか。
- ・スポーツ合宿の場としての活用も考えられるのではないか。

【委員 E】

- ・異学年合宿体験の場としての活用も考えられるのではないか。
- ・大人の通勤合宿や親同士の交流も考えられるのではないか。

【会長】

- ・ホテルのようなところではなく、宿泊体験が出来るところが良いということか。

【委員 C】

- ・集団で生活する場を設け、宿泊体験が出来る場があると良いと思う。
- ・冬場の利用として、歩くスキーなどが出来たら良い。

【会長】

- ・しっかりとした宿泊施設にするには、改修費としてかなりお金がかかる。どの程度の宿泊施設にするか検討をすることが必要である。

【委員 I】

- ・デイサービス等詳細については考えていなかったが、入所施設として安い料金で活用できる施設をイメージした。
- ・高齢者と子どもの交流が出来るが良いのではないか。

【委員 H】

- ・民業を圧迫するような施設はいけないと思う。
- ・施設に入所して介護を受けるというよりは、最近の傾向として在宅で介護されたい、といった要望があるようなので、訪問介護ステーションを提案した。

【会長】

- ・北広島市の福祉施設の充足度かどうか。

【事務局】

- ・高齢者福祉計画を持って進めている。

【会長】

- ・デイサービスは充足しているのか。

【事務局】

- ・充足している。

【委員 A】

- ・北広島団地地区に高齢者支援センターを 2 ヶ所設置したいと考えている。1 ヶ所は場所をすでに確保している。もう 1 ヶ所を学校跡地に配置できたらと考えている。

【会長】

- ・高齢者支援センターとして学校跡施設を活用するのは意義があると思う。

【委員 A】

- ・高齢化が進むと認知症など課題が出てくる。お金の管理等をする支援センターが必要である。
- ・自分の育った地域で暮らしたいという高齢者が多くいると思うので、団地地区に老人ホームがあれば良いと思う。

【会長】

- ・高齢化社会になっていくと、財産管理の問題等も出てくるだろう。

【委員 B】

- ・近い場所にデイサービスがあると良い。
- ・除雪サービスがあると良い。

【会長】

- ・在宅を支援する機能は、これからニーズが高い。

【委員 J】

- ・支援センターにある図書室は小さいため、規模を大きくして、学校跡施設内に図書館があると良い。
- ・飲食の場があると良い。

【会長】

- ・図書館もいろいろな形態が考えられる。寄贈された本の図書館なども考えられる。

【委員 K】

- ・現在、日本では海外から看護師を募集しているが、その人達向けの指導をできる場がないため、研修施設が必要ではないか。研修施設ならば現状のまま活用できる。

【委員 L】

- ・既存の教室を活用して、博物館などの活用があるのではないか。

【会長】

- ・移動手段も大切な視点である。

【委員 H】

- ・高齢者の中に 2 種免許を持っている人がいるのではないか。
- ・市民通貨みたいなものをつくって運用できないか。
- ・警察は、地域にあるだけで安心する。

【会長】

- ・移動手段は、団地全体のことを考えるとカーシェアリングの場として学校跡地を活用することも考えられる。

【委員 F】

- ・地域防災の他に防犯の拠点として考えることが大切である。
- ・自主防災マニュアルは、高齢化が進んでいると使用できない。
- ・青パト隊や地区パト隊などの拠点に活用してはどうか。

【委員 K】

- ・自治連合会としては、自主防災計画を策定しようとしている。その後は訓練もしようと考えている。

【会長】

- ・野菜工場などは学校跡地でやるとおもしろいと思う。
- ・前回と今回に出された意見を見て、大枠からまとめられるものを事務局で整理してほしい。
- ・現時点での可能性としてできそうなものを示していきたい。
- ・どのような体制でだれがやるのかを次に議論したい。

- ・現在、市内にあるNPOが参加できるようなことを議論していきたい。NPO法人や活動している団体がマネージメントとして関わっていただけると良い。
- ・マネージメントの元締めをどうするかは大きなテーマである。

4. 次回市民検討会議の日程

- ・次回は11月15日（月）の18：30から、市役所本庁舎2階会議室で行う。

5. 閉会